

米軍基地も原発もない、 京都北部地域の真の振興へ

2013年6月7日

日本共産党京都府委員会
日本共産党京都府会議員団

府民のみなさんへ

「ふるさと安全ネット」
住み続けたい

- 府民のみなさんへ
- 京都に米軍基地はいらない。
憲法を生かし、米軍基地も原発もない、平和な日本海を
- 「アベノミクス」で庶民の暮らしはよくなりません。
TPP交渉参加・消費税増税の中止。
中小企業と農林漁業を大切にす政治への転換を
- 中小企業と農林漁業を守り、
希望の持てる京都北部地域再生へ
6つの緊急対策と5つの提案

「亡国」のTPP交渉参加の動き、そして「アベノミクス」による急激な円安による資材や燃料費の高騰など、これらは北部地域に重大で深刻な影響と被害をもたらしています。

日本共産党は、府民のみなさんと力をあわせ、米軍専用レーダー基地計画の中止・撤回を求める運動や安倍政権による暮らしと経済破壊を許さない運動に全力をあげてとりくんでいます。

丹後地域をはじめ、京都北部の地域社会の再生と振興の道は、米軍基地も原発もない平和な日本海であってこそ実現できる、また美しく、豊かな自然の恵みと景観、農林漁業を生かし、地域循環型の経済対策の推進こそ、きりひろくことができるー日本共産党はこう考えています。

京都北部は、豊かな自然と歴史、伝統、ふるさとを愛するみなさんの強い思い、住民の自治と運動が培われてきた地域です。

北部地域を壊し、だいなしにする米軍基地設置、TPP、悪政許さない声と運動を

ごいっしょに広げに広げようではありませんか。

関西電力が建設しようとした久美浜町への原発計画を31年におよぶ、ねばり強い運動で撤回に追い込みました。以来、京都には一つの原発もつくらせません。

また、当時「東洋最大」と称された宮津火力発電所計画を撤回に追い込んだ運動は、日本海の自然と景観、漁業をまもろうという心意気を示し、歴史的なたたかいとなりました。

「構造改革」路線にもとづく住民不在の上からの「押しつけ合併」の問題では、多くの自治体・地域で「押しつけ合併」に反対する幅広い大きな運動が展開されました。伊根町では住民投票を成功させ、自立の道をすすみまし。不況打開を求める運動、日本の米



と農業を守るたたかい、子どもの医療費の助成、障害者運動、舞鶴港へのトマホーク設置など軍備増強を許さない、など多くの運動がとりくまれてきました。

また、原発被害に苦しむ福島支援へのボランティア活動や、自然再生可能エネルギーへの転換のさまざまな努力、NPOの活動も広くとりくまれてきました。

北部地域はいま、米軍基地や原発の危険にさらされ、一握りの多国籍企業や財界・大企業優先の経済政策、TPPによる衰退の道を許すのかどうか、重大な岐路にたっています。

この時、「国が決めたことだから」「国防のいじだから」とあきらめるわけにはいきません。

いま、私たちの判断と行動は、現在とともに、子や孫たちの将来を決めるものとなります。後で悔やんでも取り返しはつきません。ともに力をあわせましょう。